

文部科学省スーパーサイエンスハイスクール(SSH)事業を進めています。

安積高校は、平成14～18年度の第1期に続き、第2期(令和元～5年度)の指定を受け、事業を進めています。

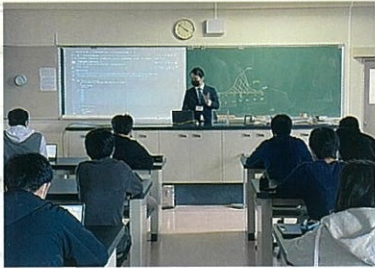
SSH事業とは

文部科学省が、将来の国際的な科学技術関係人材を育成するため、先進的な理数教育を実施する高等学校等を「スーパーサイエンスハイスクール」として指定し、学習指導要領によらないカリキュラムの開発・実践や課題研究の推進、観察・実験等を通じた体験的・問題解決的な学習等を支援するものです。

《活動の様子》

SSアカデミーⅡ

2年生は外部講師からPythonによるデータ解析を学んでいます。



1年生県内研修

1年生が地域の諸問題について現場で学びました。

国際高校生放射線防護ワークショップ(SSHフランス研修)

フランスの高校生との交流会に向けて飯館村を訪れ田中俊一前原子力規制委員長から学んでいます。



エッセン交流事業(SSHドイツ研修)

郡山市と連携しながらドイツの高校生と交流しています。昨年度は駐日ドイツ大使にもご来校いただきました。

SSH生徒研究発表会

安積高校の取り組む様々な探究活動の発表会です。今年度は、年度初めに全学年でポスターセッションを行いました。



未来の科学技術を担う人材育成のための少人数ゼミ

各分野の最先端の研究者をお呼びしての、対話を重視した希望者によるゼミです。今年度は脳科学分野からはじまりました。



全国SSH発表会

日本全国のSSH指定校が集う中、本校のパラグライダー班が研究発表しました。



安積を志す諸君へ



支援團長
八巻 春日

安積を志す諸君。諸君に安積での生活、安高生とは何たるかについて話しておきたい。

創立138年目を迎えた我が安積高等学校。積み上げてきた歴史が故に伝統を重んじる我が校での生活は決して容易なものではない。常に己の課題を探究し、不断の努力をしていくことが求められる。時に苦行を強いられ、幾度となく己と対峙し、挫折を味わうことさえある。然し、この事実を受け止め、逆境に耐える覚悟を持ち、乗り越え、そして、飛翔してこそ、真の安高生となれるのである。

次に、伝統を継承し、進化させていくことも我々安高生の使命である。常に変化し続ける現代において、何も考えず無心で伝統を受け継ぐのみでは時代の流れに取り残されてしまう。そこで枢要となるのが「安積の精神」で最も重要な「開拓者精神」である。一言で言うならば「新たな道を切り開くための精神」と言えよう。「開拓者精神」の基に、伝統を正しく理解し、時代に合わせて新たなものを切り開くことで、安積の伝統は進化しつつも、不変のものとして受け継がれてきたのである。

安積高等学校は県内最古の進学校である。其れ故、様々な才を持つ、志の高い仲間と切磋琢磨し、刺激し合える素晴らしい環境が整っている。学力を高めるだけでなく、人間として大きく成長できる学び舎なのである。将来、世界を支え人類の発展に寄与するであろう諸君にとって、安積で学ぶことは一生の財産となるであろう。

諸君が安積に新たな伝統を築いてくれることを切に期待する。